

# 第 57 回インテリア設計士資格検定

## <1 級学科試験・論文課題>

東日本大震災、熊本地震の復興が進む中、鳥取県中部地震が発生するなど、我が国では地震は繰り返しやってくる。

地震時における収納家具の挙動を挙げ、その対策について言及しなさい。

1. 試験時間：1 時間 30 分（午前 10 時 30 分～正午）
2. 記入用紙：配布された指定の論文用紙に記入する。文字数は 800 字以上 1000 字未満とする。
3. 注意事項
  - (1) 論文用紙に、受験票に記載の協会名(都道府県名のみ)と受験番号を必ず記入してください。
  - (2) 試験監督員の「開始」の合図に従って書き始めてください。
  - (3) 質問があるときは、黙って手をあげてください。ただし、内容に関する質問にはお答えできません。
  - (4) 試験終了時間前に解答ができあがった場合は、試験監督員の指示に従ってください。
  - (5) 「終了」の合図と同時に終了し、論文用紙を監督員の指示に従って提出し、速やかに退室してください。
  - (6) 参考資料、原稿、コピー等の持ち込みはできません。
  - (7) 課題用紙(この用紙)は持って帰ってください。
  - (8) 手洗いに立ちたいときは黙って手をあげ試験監督員の指示に従ってください。ただし、原則として学科試験中のトイレ休憩は認められません。
  - (9) 携帯電話の電源は、必ず切っておいてください。

## 第57回インテリア設計士資格検定試験

### <1 級 論 文 解 答 例>

<課題> 東日本大震災、熊本地震の復興が進む中、鳥取県中部地震が発生するなど、我が国では地震は繰り返して来る。地震時における収納家具の挙動を挙げ、その対策について言及しなさい。  
文字数は800字以上1,000字以内とする。

1/3

地震時の収納家具の挙動は大きく分け、1. 転倒、2. 移動、3. 収納物の落下、4. 引き出しの飛び出し・落下の4つが挙げられます。

それらの被害として、周囲の人や物に重大な被害・避難経路の障害・火気器具への転倒や落下による火災の発生・収納物の破損があり、これらの被害を防止する対策について説明します。

100

1. 転倒、2. 移動について5つの対策：①家具を壁に固定する。間柱・胴縁等下地の有無を下地探知センサー、専用プッシュピン、打診による判断、磁石による判断（釘、軽量鉄骨の有無）等により確認します。そのうち最も一般的な打診は、2×4の壁は45cm間隔、

200

木軸壁は30cmまたは45cm間隔に縦桟があるの  
で、1m四方をドライバーの柄などで叩き音  
で判断します。コツコツと高く詰まった音が  
すれば間柱等がある証拠です。家具の固定方  
法は下地壁の種類により様々ですが、住宅に  
多い木軸壁に対する器具による固定では木ネ  
ジを使用します。木ネジは長めのものを使用  
し、ネジ頭まで確実にネジ込み3か所以上で  
固定します。※付け鴨居の強度が確認できれ  
ば利用できます。②ガラスに飛散防止フィル  
ムを両面に、片面の場合は外側に貼ります。  
③収納家具の収納物は、重い物を下部に収納  
することで重心を下げておきます。④キャス  
ター付家具は移動時以外はロックしておきま  
す。⑤壁に接して配置できない家具は、フロ  
ーリング等硬い床には、床と家具の接触部に  
粘着式耐震マットを設置し、カーペット等軟  
らかい床には滑り防止マットを設置します。

300

400

500

600

3. 収納物の落下対策：①観音開きの扉は、扉開放防止器具として粘着式・ネジ固定式の掛け金具、感震ラッチを取り付けます。ガラス扉には前記同様の措置を講じます。②扉の無い書棚等には、落下防止バー、落下防止抑制テープ等落下防止器具を設置します。

700

4. 引出しの飛び出し・落下対策：引き出し方向と地震の方向が一致したときに引出しが飛び出し家具の重心が変り転倒するため、特に上部の引出しには重い物を入れないようにします。また引き出しにラッチを設置することで、飛び出しを防止します。

800

安心・安全に暮らすためには、少なくとも上記の対策を日ごろから行うことが大切で、地震時の被害を軽減することができます。

900

1000